

別紙 他の協議会等の取組

		令和7年度開催日	現状、必要な仕組みやあると良いもの等の意見 [抜粋]
1	甲賀圏域在宅医療福祉推進協議会 (※主に高齢者分野の課題整理や取組強化)	R8.1.22	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で療養や看取りができることをもっと情報提供することが必要で、住民の認識を上げていく。 ・在宅療養、看取りは医療と看護、介護が一緒になってやっていくもの。 ・介護スタッフ（特にヘルパー）の高齢化により人員確保や継続性のリスクがある。
2	甲賀湖南うつ・認知症・在宅医療等懇話会 (※多職種連携の推進)	R7.7.10 R8.1.22 R8.3.5予定	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携はそれぞれの立場でみえていることを共有することが必要。 ・知的障がい、発達障がいのある方、認知症の方などは説明しても理解していただけなく、支援が難しい。 ・意思決定支援は、みんなで話をする、チームで支える。
3	甲賀圏甲賀圏地域連携検討会 (※入退院支援の深化)	R7.7.15 R7.12.9	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援においては職種間の相互理解が必要。 ・受け手が求める情報と、送り手が提供する情報に齟齬がないように。 ・カンファレンスで医療者が話す専門用語を家族等が理解されていないことが多い。簡単な言葉での説明が必要。
4	甲賀地域認知症疾患医療連携協議会	R8.3.10予定	(認知症の診断後支援について意見交換予定)
5	甲賀圏域難病対策地域協議会	R8.2.10予定	(難病患者の医療的ケアにかかる意思決定支援について意見交換予定)
6	甲賀圏域における自殺未遂者支援事業連絡会議	R8.2.26予定	(自殺未遂者支援事業連絡票の圏域外統一様式の周知と甲賀圏域自殺未遂者支援事業実施要領の改正案の検討予定)
7	滋賀県精神科救急システム連絡調整会議 東近江・甲賀・湖南ブロック部会	R7.7.7	<ul style="list-style-type: none"> ・全県域すべての申請通報件数は令和6年度306件で年々増加傾向、Bブロックでは、警察官通報（23条通報）は、全体の75%（甲賀30件）で診察要は62%。診察要のうち、緊急措置入院者の割合は病院毎に8%～17%。緊急措置入院者で2割が帰宅。 ・警察署は23条通報等の対応については、特に問題ないが、23条通報に至らないケースの対応に苦慮している。 ・身体合併をもつ措置患者の対応について、滋賀県全体の救急医療システムの課題として提案が必要。
8	甲賀圏域周産期保健医療連絡調整会議	R8.1.19	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦がタイムリーに精神科受診ができる（妊産婦がスムーズに受診予約できる）仕組みがあるとよい。 ・母体の健康や親子関係も含めてカウンセリングしてもらえる場があるとよい。
9	湖南・甲賀ブロック安心・安全な分娩の在り方検討会	R7.8.29	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩数がかなり減少。経営が厳しい。 ・身近な分娩施設の減少は妊娠へのハードルを高めかねず望ましくない。 ・周産期医療体制は甲賀圏域と湖南圏域がひとつのブロックとして設定されている。しかし、甲賀圏域と湖南圏域では現状や課題も違いすぎるため、甲賀圏域だけで周産期保健医療をトータルに考えていくことが必要。
10	甲賀地域健康危機管理調整会議	R7.12.16	<ul style="list-style-type: none"> ・新興再興感染症パンデミックを見据えた保健医療体制の現状を確認した。 ・今後年末年始等の医療体制については取りまとめの上、関係者に公報していく方針。 ・災害時医療体制にかかる検討会の設置について協議し、設置・開催することで合意。
11	湖南甲賀ブロック小児救急・診療対策協議会	R7.8.21	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南甲賀ブロックの小児救急医療体制にかかる小児科医師の活動経過と課題を関係自治体と共有した。 ・小児救急・診療体制維持のための課題認識と関係者の取組について今後も継続協議予定。